

第4学年 学級活動（3）指導案

1. 日時・場所 令和5年7月

2. 題材 「夏休みで成長しよう」

(ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成)

3. 評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
希望や目標をもつこと、働くこと や学ぶことの意義を理解し、将来 への見通しをもち、自己実現を 図るために必要な知識や行動の仕 方を身に付けている。	希望や目標をもつこと、働くこと や学ぶことについて、よりよく生 活するために課題に気づき、解決 方法などについて話し合い、自分 に合った解決方法を意思決定して 実践している。	現在及び将来にわたってよりよく 生きるために、見通しをもったり 振り返ったりしながら、自己のよ さを生かし、他者と協働して、自 己実現に向けて意欲的に行動しよ うとしている。

4. 題材について

(1) 児童の実態

素直で、元気な子供たちである。今年度初めの学年開きにおいて、教師からは、中学年におけるお兄さんお姉さんの立場として3年生以下の学年には優しく接して欲しいこと、高学年としては、5・6年生の言動からよさを学び、来年以降のよりよい自分たちの姿に生かして欲しいと言葉を贈った。子供たちなりに贈られた言葉の意味を考え、努力しようとする姿が見られる。

学級目標は、キャリア在り方生き方ノート「4年生になって」などを活用し、多くの仲間の思いを言葉に込めて全員で納得して決めることができた。また、決まった学級目標の達成に向けてがんばりたいことについて、一人一人が意思決定したものを書き表して掲示している。

これまでは、「4年生になって」や「学級目標を決めよう」、「雨の日の過ごし方」などの学習に取り組んできた。事前アンケートから自分たちの生活上の課題をつかみ、教師が示す資料などから原因を追求したり、話し合いを通して解決方法を見つけたりしてきた。意思決定の場面では、これまでの自分の姿や学習を通して大切だと思ったことをもとになりたい自分の姿を具体的な個人目標として意思決定する経験を重ねてきた。事後の実践では、折に触れて活動を振り返ることでめあてである目指す姿を意識し、近付こうと努力する様子が見られている。

(2) 題材設定の理由

夏休みは、家庭中心の生活となる。この期間は、子供たち自身の力によって自己を伸ばす学習を行ったり、夏休みならではの経験を積んだりするのによりよい機会である。夏休みに行いたい学習や体験などの計画を立てることによって見通しをもって生活し、夏休みをより有意義に過ごしたり、成長を実感したりできるのではないかと考える。

そこで、これまでの夏休みの過ごし方を振り返るアンケートに取り組むことで共通の課題に気付いたり、夏休みの過ごし方の約束や各種コンクール、地域の行事などがあることを知ることでよりよい夏休みを過ごそうと意欲を高めたりできるのではないかと考えた。さらに、自分の目標や夢に近付くために自身の興味などに基づいてどのように過ごせばよいかを考え、話し合い、自分に合っためあてを意思決定することで見通しや希望をもって実践に取り組んで欲しいと願い、本題材を設定した。

5. 活動の実際

(1) 事前の指導

活動の場	・児童の活動	○指導上の留意点	資料	☆目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
朝の時間	・夏休みの過ごし方アンケートに答える。	○これまでの夏休みの過ごし方について振り返り、めあてや見通しをもって過ごすことの大切さに気付けるよう助言する。	アンケート (児童の意識を高めるための資料)	☆アンケートに答えることで、夏休みの過ごし方について、学習への見通しをもとうとしている。 【主体的態度】〈アンケート〉

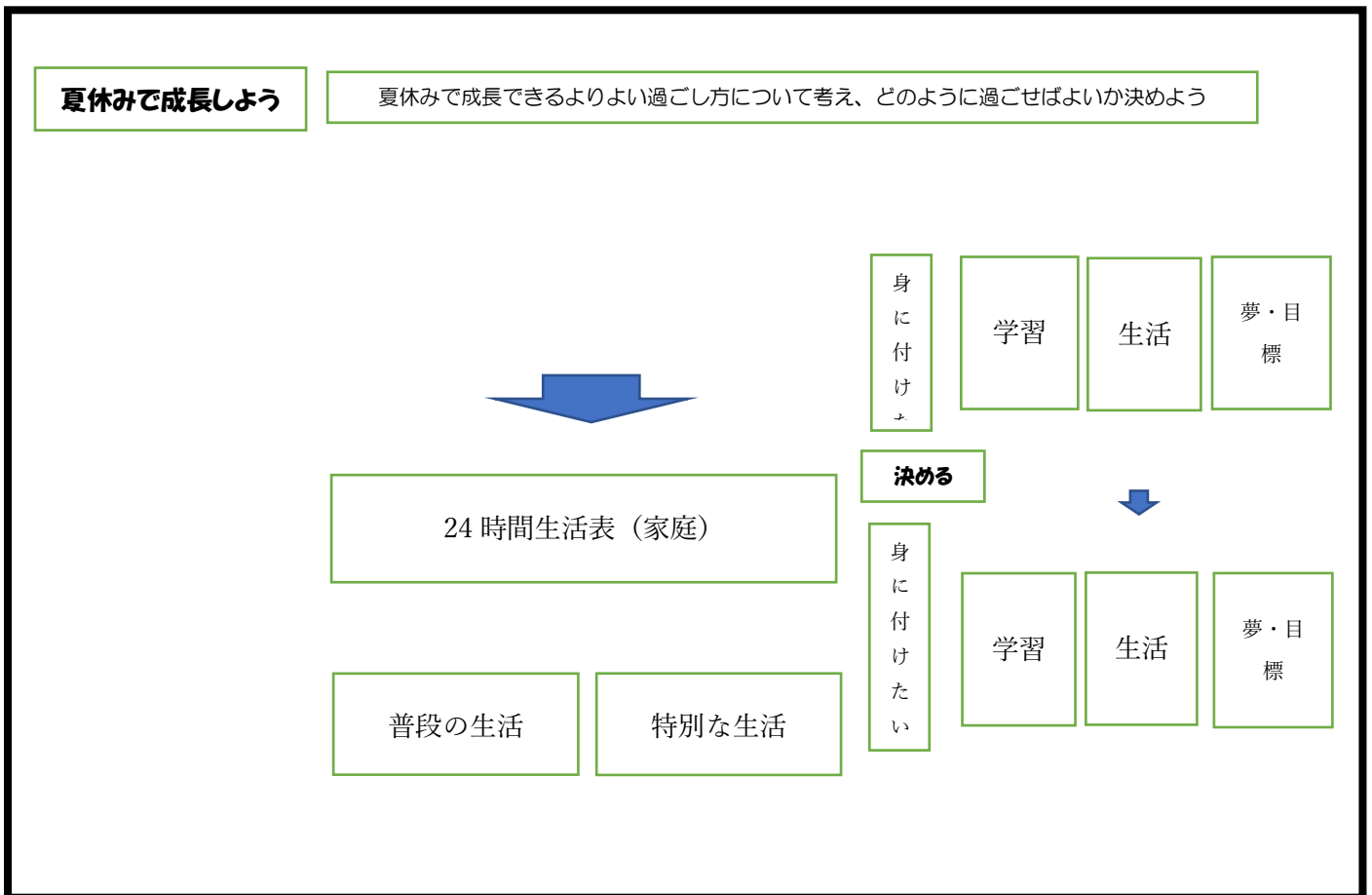
(2) 本時の展開

- ①ねらい めあてや見通しをもって夏休みを過ごすことの大切さに気づき、目標や夢に近付くための過ごし方について話し合い、自分のめあてをもって実践できるようにする

②展開

	児童の活動	○指導上の留意点	・資料	☆目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
導入 つかむ	1. アンケート結果を見て、これまでの夏休みの過ごし方について、気付いたことを発表する。	○資料を提示することで、これまでの夏休みの過ごし方の実態や問題点を全員が把握できるようにする。	・アンケート結果 (児童の意識を高めるための資料)	
夏休みに成長できるよきよき過ごし方について考え、どのように過ごせばよいか決めよう。				
展開 さぐる 見つける	2. 今年の夏休みに成長するために必要なことについて考える。 3. 夢や目標に近付けるようにするためにどのような過ごし方がふさわしいのか、過ごし方の工夫について話し合う。	○学校生活を基本とした1日の過ごし方の大切さに気付くことができるようにする。 ○多くの時間やイベントなどがあることや興味にそった夏休みならではの過ごし方ができることに気付かせ、計画的に取り組めるよう伝える。	・キャリア在り方 生き方ノート (ねらいを焦点化するための資料)	☆学校生活で身に付けた生活リズムを生かしながら夏休みならではの生活の仕方を計画的に行う必要性を理解している。 【知識・技能】 〈観察・発言〉
終末 決める	4. 夏休みに成長するためにどのように過ごすのか、自分のめあてを決める。	○何を行うのか、話合いを参考にして具体的なめあてを書くよう助言する。	・めあてカード (実践への意欲付けのための資料)	☆話し合ったことを生かして、自分が実践することを意思決定している。 【思考・判断・表現】 〈観察・めあてカード〉

④板書計画



(3) 事後の活動

活動の場	・児童の活動	○指導上の留意点	☆目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
7月22日～ 8月27日	・意思決定したためあてを意識して実践する。	○保護者には、学年便りなどで事前にお知らせし、各家庭で適切に指導してもらえるようにする。児童には、GIGA 端末を活用し、意識して取り組めるよう適宜伝える。	☆意思決定したことを実践している。 【思考・判断・表現】 〈GIGA 端末〉
8月28日 帰りの会	・実践について振り返る。	○振り返りを行う機会を設定し、継続した実践になるようにする。	☆実践を振り返り、今後の学校生活や日常生活に生かそうとしている。 【主体的態度】 〈めあてカード〉

6. 資料

(1) 児童の意識を高めるための資料（「夏休みの過ごし方」アンケート）

- ①これまで（小学生）の夏休みは、どんなことに取り組みましたか。
- ②これまで（小学生）の夏休みで、がんばったことはどんなことですか。

(2) ねらいを焦点化するための資料

- ①1日の生活表（学校生活⇒家庭生活）
- ②キャリア在り方生き方ノート

(3) 実践への意欲付けのための資料（めあてカード）

